

～ やまがた緑環境税を活用する事業の展開について ～

【平成29年度】当初予算

やまがた緑環境税活用事業881,732千円
(うちやまがた緑環境税720,000千円)

I 環境保全を重視した森林施策の展開 712,440千円(うちやまがた緑環境税550,708千円)

① 環境保全を重視した森林整備の推進 (651,885千円 うち緑環境税490,153千円)

◆ **荒廃森林緊急整備事業【拡充】** 1,020ha (林業振興課:651,885千円 うち緑環境税490,153千円)
荒廃のおそれのある人工林や、活力が低下している里山林の整備を行い、森林の有する公益的機能の適切な発揮を図る **【税を活用した森林整備による公益的機能の維持増進についてPRを強化】**

□ 人工林整備 事業量760ha 411,812千円(うち緑環境税250,080千円)

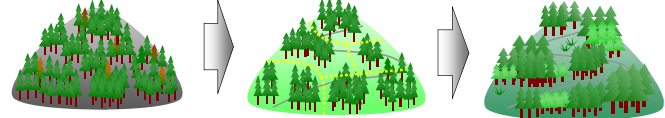
手入れが不十分で荒廃のおそれのある人工林の整備

やまがた緑環境税による整備 274ha
国庫補助事業を活用した整備(森林環境保全直接支援事業等) 486ha

【対象林齢の拡大】

○ 針葉樹林維持型

人工林を適正に維持、管理するための間伐や森林作業道の設置等を行う



～多様な樹齢からなる森林が面的に整備され、公益的機能が持続的に発揮される森林へ～



○ 針広混交林型

広葉樹との混交の促進を図る強度間伐等を行う



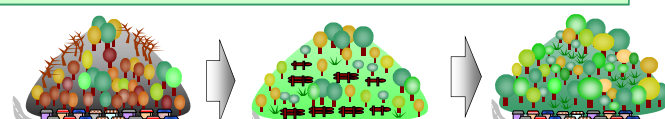
～自然生態系が豊かで公益的機能が高度に発揮される森林へ～



□ 里山林整備 事業量260ha 240,073千円(うち緑環境税240,073千円)

病虫害等被害で活力が低下した里山林の再生。被害木の伐採や補植等を行う

やまがた緑環境税による整備 202ha
森林景観整備・人と動物との共存林整備(市町村補助) 58ha



～多様な樹種や年齢で構成する緑豊かな明るい里山林～



【面的整備実施後に発生した被害木の緊急伐採を追加】

② 森林資源の循環利用の促進 (60,555千円)

◆ 森林資源再生事業【拡充】 110ha (林業振興課:19,065千円)

森林の有する公益的機能の維持増進及び持続的に発揮する仕組みを構築するために、再造林に要する経費の一部を支援する

【森林資源の循環利用に向けて、主伐後の再造林への支援を強化(苗木購入経費支援を追加)】



◆ 森林資源循環利用促進事業 60,000m³ (林業振興課:36,490千円)

間伐材等を、ラミナ(集成材)、合板等用材やチップ、ペレット等の木質バイオマス燃料等として利用するための搬出等を支援し、環境保全に配慮した木材の利用促進を図る



◆ 広葉樹林健全化促進事業 5,000m³ (林業振興課:5,000千円)

ナラ枯れ被害木を含むナラ林等を伐採し、チップ等への活用に併せ、害虫の駆除とナラ林の若返りを図るため、搬出及び作業道の設置を支援する

【大量集積型おとり丸太設置は廃止】



10年間の森林整備面積目標
今後10年間(H29～38)で適切に整備された森林
11,600haの増加

【Ⅱ+Ⅲ 169,292千円(ソフト事業)】

資料2-1

Ⅱ みどり豊かな森林環境づくりの推進 (148,209千円)

① 県民参加の森づくりの推進 (134,135千円)

◆ みどり豊かな森林環境づくり推進事業 (みどり自然課:120,000千円)【組替新規】

地域住民や市町村が行う計画的かつ広がりのある活動や地域と連携して行う森づくり活動等への支援

- 1 豊かな森づくり活動 (地域住民との協働による里山林の保全活動)
- 2 自然環境保全活動 (希少野生生物の生息地の保全活動)
- 3 森や自然とのふれあい活動 (子ども達や地域住民に対する森林・自然環境学習)
- 4 木に親しむ環境づくり (木材の地産地消の取組み)

【みどり環境公募事業とみどり環境交付金事業を統合】 【みどり環境公募事業におけるテーマ助成の廃止】

◆ やまがた絆の森づくり推進事業 (みどり自然課:912千円)

企業と地域が連携した森林の保全・活用と里山の活性化に向けた取組みの支援

- 1 企業・森林所有者・県による「やまがた絆の森協定」に基づく森づくり活動の推進
- 2 整備森林のCO₂森林吸収量認証による森づくり活動の見える化

◆ 森づくりサポート体制推進事業【拡充】 (みどり自然課:13,223千円)

地域住民や市町村、企業による森づくり活動を総合的に支援 **【森づくり支援体制の強化】**



② 自然環境保全対策の推進 (14,074千円)

◆ 生物多様性戦略推進事業(一部) (みどり自然課:3,782千円)

自然環境の変化等についての総合的なモニタリング調査

◆ 鳥獣管理推進事業(一部)【拡充】 (みどり自然課:8,642千円)

里山など森林に生息する大型野生動物の実態調査 **【カメラトラップによるツキノワグマ生息状況調査の強化】**

◆ 野生鳥獣捕獲体制強化支援事業(一部) (みどり自然課:221千円)

人と野生鳥獣の共生の担い手育成

◆ 大型野生鳥獣等野生復帰事業(一部) (みどり自然課:1,429千円)

傷病等で救護された野生鳥獣の復帰支援



Ⅲ 豊かなみどりを守り育む意識の醸成 (21,083千円)

① 森林・自然環境学習等の推進 (2,056千円)

◆ 森林・自然環境学習推進事業【拡充】 (みどり自然課:2,056千円)

- 1 森林環境学習に関する副教材や森のたんけん手帳の作成・提供 **【教材の活用方法等に係る検討会の開催】**
- 2 人と、木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心をもつづくりを目的とした「木育」の推進 **【新規】**
【「山形県木育推進委員会(仮)の開催及び「山形県木育推進方針」(仮称)の策定】



② みどりを育む意識の醸成 (17,975千円)

◆ みどりの循環県民活動推進事業【拡充】 (みどり自然課:15,269千円)

- 1 やまがたの森の感謝祭等の開催
- 2 森を守り、育て、暮らしに活かす「緑の循環システム」への理解を深める各種体験イベントの開催 (森のホームステイ、間伐体験、木工教室等の開催)
- 3 やまがた緑環境税の普及啓発
PRパネル展の開催や広報誌「もりしあ」の発行、各種情報発信サービスの活用等による普及啓発 **【新聞掲載などによる広報の充実】**



◆ 総合支庁実施事業 (総合支庁:1,833千円)

- ◇ 村山総合支庁 ・むらやま版・木のある生活推進事業(森林整備課)
- ◇ 最上総合支庁 ・BEST!森づくりリーダー育成事業(森林整備課)
- ◇ 置賜総合支庁 ・置賜みんな一緒に森林活動ネットワーク事業(福祉課)
- ◇ おきたま源流の森づくり活動推進事業(森林整備課)
- ◇ 庄内総合支庁 ・出羽庄内公益の森づくり事業(森林整備課)



◆ やまがた緑環境税広報事業【拡充】 (税政課:873千円)

やまがた緑環境税の周知、広報 **【ラジオを活用した広報活動等】**

③ やまがた緑県民会議 (1,052千円)

◆ やまがた緑県民会議 (みどり自然課:1,052千円)

やまがた緑環境税の評価・検証及び県民への周知

平成38年度の
やまがた緑環境税を活用した森づくり参加人数目標
(H27) 60,979人 → (H38) 7万人

平成38年度の
やまがた緑環境税の認知度向上の目標
(H27) 45.1% → (H38) 50%

「みんなが安心して暮らせるみどり豊かなやまがた」の実現